

クラブ週報から抜粋

## 和歌山南ロータリー旗争奪少年野球西支部大会 胸部プロテクター（200セット）寄贈

会長 田中 章慈

ロータリーで9月は、新世代のための月間とされています。9月2日、和歌山南ロータリー旗争奪少年野球西支部大会が開催され、多くの会員のご出席をいただきました。

今回当クラブから、スポーツにおける安全確保は重要なことであるという観点より、ボールが胸に当たる衝撃によりおこる心臓停止事故を防ぐ胸部プロテクター200セットを少年野球西支部の各チームに寄贈させていただきました。

PL学園での死亡事故を受けて、胸部プロテクター寄贈のニュースは、毎日新聞や和歌山新報で大きく取り上げられ評価される奉仕事業になったようであります。

さて、あのPL学園の事故では、AEDが配備されていたにも拘わらず使用しなかったことが問題になりましたので、本日はAEDについて報告いたします。AEDを装着しますと、内蔵された心電図が電気刺激の対象かどうかを自動的に判断します。必要の無い場合、いくらボタンを押しても電気は発射されません。誤った使い方で事態が悪化するということはないのです。

AEDは確かに有用でありますが決して高価な機器ではありません。いろんな場所に設置することが普及しはじめました。しかし、あればいいというものではなく、その目的と使用方法、ならびに一連の救急蘇生法の熟知が重要であります。市民が自らの手で除細動を行うような時代となってきましたので、クラブで講習会開催などを検討してみたいと考えているところです。

